

ナンバリング	A②05	科目名	現代社会論<各論> 「まちあるき」から社会を考える		担当教員	鷲野 宏	
ディプロマポリシーとの関連性	②・③・④		担当形態				
テキスト	適宜資料を配布			単位数 授業形態	4単位 演習	開講時期	通年
<b>講義概要</b> <b>■到達目標</b> ・都市を観察するための様々な方法を獲得し、「まちあるき」で気づいたことを具体的に記録・説明できるようになること。 ・都市という現象と社会との関係について、観察結果を踏まえて、考察し・説明し・議論することができるようになること。 ・多様な価値観の存在や他者への理解を踏まえて、社会について自主的かつ客観的な考察ができるようになること。							
<b>■授業の概要</b> この各論では、江戸・東京の「まちあるき」を通して、都市という現象と社会との関係を考えます。都市に現れるデザインと時代との関係を探るためのいくつかの視点をもとにして、具体的な都市でのフィールドワークをおこない、両者の関係性を体感していきます。その体感をもとにグループワークによる議論・考察をおこない、思考をまとめながら意見を交換することを通じて、多様な価値観や他者の存在を踏まえたうえで、常に進行形である現代社会という状況について自ら考察し続けることのできる教養を得ることを目的とします。都市を鑑賞する感性を刺激するための普段とは異なる視点として、運河をゆく船上からの視点やサウンドスケープ(音の風景)という考え方もとりあげます。							
<b>■授業計画</b> 第1回 オリエンテーション：学園周辺のまちあるき 第2回 準備：都市を観察する方法（建築・都市デザイン／景観論／歴史の積層） 第3回 まちあるき1：国家中枢のまちづくり（訪問地：東京駅丸の内駅舎・江戸城跡・霞ヶ関・丸の内） 第4回 まちあるき2：国家中枢のまちづくり（訪問地：国会議事堂およびその周辺） 第5回 ワークショップ：まちあるき後の議論と考察 第6回 まちあるき3：ファッションのまち（訪問地：表参道・渋谷・代官山ヒルサイドテラス） 第7回 ワークショップ：まちあるき後の議論と考察 第8回 準備：まちがデザインされる仕組み 第9回 まちあるき4：まっさらな土地にうまれた計画都市（訪問地：幕張新都心） 第10回 ワークショップ：まちあるき後の議論と考察 第11回 ワークショップ：「まちあるき」から社会を考えた前期のまとめ 第12回 準備：モノとコト／日本のモダニズム／ヒューマンスケール／大正期の和風住宅と庭園 第13回 まちあるき5：モノとコトが連鎖するまち（訪問地：代官山ヒルサイドテラスと猿楽祭と旧朝倉家住宅） 第14回 ワークショップ：まちあるき後の議論と考察 第15回 準備：運河からみるまち／サウンドスケープ論 第16回 まちあるき6：「名橋たちの音を聴く」または江戸城外濠神田川の内と外（訪問地：旧万世橋駅・神田明神・湯島聖堂等） 第17回 ワークショップ：まちあるき後の議論と考察 第18回 準備：他分野との交流 第19回 まちあるき7：他分野との交流 第20回 ワークショップ：フィールドワーク後の議論と考察 第21回 準備：日本橋という存在／大規模再開発と歴史の保存／パブリックスペース／日本橋上の高架高速道路 第22回 まちあるき8：江戸以来の商業の中心地（訪問地：丸の内・京橋・八重洲・日本橋） 第23回 ワークショップ：まちあるき後の議論と考察 第24回 ワークショップ：「まちあるき」から社会を考えた1年間のまとめ							
<b>■準備学習</b> ・フィールドワークの体験を通じて気になったことについて、調査・考察してくること							
<b>■評価方法</b> ・フィールドワークレポート（授業内での発言・発表内容またはレポート提出） — 30% ・ワークショップでの議論・考察の内容等 — 40% ・ワークショップレポート（授業内での発言・発表内容またはレポート提出） — 30%							
参考文献	日本建築学会編「建築設計資料集成 都市・地域1—プロジェクト編」丸善 2003. 陣内秀信「東京の空間人類学」ちくま学芸文庫 1999. 川添登「今和次郎 その考現学」ちくま学芸文庫 2004. 五十嵐敬喜・小川明雄「都市計画 利権の構図を超えて」岩波書店 1993. 藤森輝信「日本の近代建築」岩波書店 1993.			特記事項	フィールドワークは休日に実施する箇所あり／現地集合解散で現地までの往復の交通費が必要／チケット代や喫茶代等がかかる場合あり／まちあるきの所要時間は3時間程度を想定。／座学・ワークショップは3限～16：00までが原則／授業計画は予定。訪問地等（特にまちあるき2・3・7）は変更になることあり。 【課題等へのフィードバック方法】 議論にはコメントし、発表には講評をおこないます。		
卒業・免許状・資格との関連	卒業必修			幼保	教養科目		
実務経験のある教員等による授業内容							